

フォトクリエイト 2013年新規上場銘柄が買い時に・・・

東証マザーズ 6075
株価 2,002 円
単位 100 株

目標 2,500 円
時期 3ヶ月初旬

① スポーツ・祭りなどのイベントに参加者向けにネット販売する

同社は、全国で開催されるマラソンなどのイベントにプロカメラマンを派遣し、撮影した写真を参加者向けに販売する事業を展開している。販売はインターネットで行っており、スポーツイベントにおける受注シェアは80%に達する、ニッチな勝ち組企業。

スポーツイベントだけでなく、学校行事やお祭りなどあらゆるイベントにプロカメラマンを派遣する能力がある。

また、結婚式場との提携で、写真のクラウドサービス「グロリアーレ」を展開。他の業種などにも展開中だ。

② ネットコミュニティとリアルの世界の出入り口を抑える企業

イベント参加者が自らの映る写真を見に来るので、サイトへのアクセス数、ユーザーの獲得などは非常に安定している。この基本的なアクセスラインを生かし、よりコミュニティビジネスに近いモデルを、同社は模索している。

同社が展開する事業は、「スポーツ」「イベント」という、確実にリアルな世界と結びつくネット事業であり、「地方」をネットで活性化させることもできる事業でもある。そこで構築されるコミュニティには、実需との相乗効果が創出される確実性があり、成長性の確立評価は十分にできるだろう。現在の収益のほとんどが写真への実需で構成されているだけに、その糊代は大きいかもしれない。

ただし、問題は「類似会社が存在しないこと」だ。同社がどのような成長過程を通過していくのか、前例がない分、想像がしにくいのも確かだろう。往々にしてオンリーワン企業には高いバリュエーションが付きづらいため、こうした理由による。

しかし、同社の事業の本質がインターネットコミュニティとリアルの共通の入り口を抑えている、最もわかりやすい一例であることが理解できれば、現在の20倍程度のPERは、大きく変わる可能性があり、その突破口は、同社がオリンピック関連の銘柄の一つである、ということにも求められる。

本レポートに掲載された情報・見通し・意見などは、株式会社日本マネジコが信頼に足ると判断した資料、情報に基づき作成されていますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。本レポートに掲載された内容は、必ずしも適切且つ妥当なものとは限りません。投資に係る最終決定は、投資者ご自身の判断と責任で行なって下さい。また、注意事項の詳細につきましては最終ページをご参照ください。

もちろん、爆発的なバリュエーション変化をもたらすには、同社の売り上げ規模が将来的に 100 億台に乗ること、浮動株が増加し、出来高が安定することをイメージしなくてはならない。そういった期待が持てる戦略が出せるかどうかは、同社次第であり、コミュニティビジネス等への参入戦略などが投資家の理解を得れば、その大きな糊代を、株価は先取りするだろう。

③ IPO 銘柄の需給改善を捉える投資戦略

同社は、2013 年 7 月の IPO 銘柄だが、上場時の高値 4260 円から 2013 年末 1920 円と、50%以下へ大きく下落しており、時として公募価格 1640 円に近い値段にまで下落することもある。下落の背景には、発行株数の 9%程度になる公募株式と、1.5 倍で設定されたロックアップ解除がある。これらによる需給の悪化に加え、形式上の同社の類似会社（実際は似ていない）の PER が低いこと、さらに 11 月に発表された第一四半期決算が赤字であったことなどから、株価は低迷したままだ。

しかし、上場から 1 月で 6 か月が経過し、需給改善がみられること、1 Q の赤字は季節要因であり、その証明が 2 月半ばの 2 Q 発表で確認されるであろうこと、今後、隠れ東京五輪関連であることが評価される可能性、コミュニティ事業に対する何らかの戦略が明確になる可能性があること、などが注目される。

④ バリュエーション

想定株価 2000 円とした場合

PBR 4.4 倍

PER 23.2 倍

配当利回り 0%

売上高成長率 (2013to2014) 13.9% (会社予想ベース)

予想 ROE 15.1%

自己資本比率 63.3%

浮動株 0.8%

本レポートに掲載された情報・見通し・意見などは、株式会社日本マネジコが信頼に足ると判断した資料、情報に基づき作成されていますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。本レポートに掲載された内容は、必ずしも適切且つ妥当なものとは限りません。投資に係る最終決定は、投資者ご自身の判断と責任で行なって下さい。また、注意事項の詳細につきましては最終ページをご参照ください。

⑤ テクニカル



*チャートは野村ネット&コールより引用

株価は 4260 円から 1735 円まで下落後、ボラティリティが落ちていたが、12 月以降、需給の改善が原因とみられる動きが出てきた。

⑥ 株価評価

2500 円

1. PER29 倍（会社予想 EPS）を想定
2. 高値 4260 円から安値 1735 円までの下落に対して 30%戻しの水準

本レポートに掲載された情報・見通し・意見などは、株式会社日本マネジコが信頼に足ると判断した資料、情報に基づき作成されていますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。本レポートに掲載された内容は、必ずしも適切且つ妥当なものとは限りません。投資に係る最終決定は、投資者ご自身の判断と責任で行なって下さい。また、注意事項の詳細につきましては最終ページをご参照ください。

■ 参考資料 ■

6075								
	前期末	1Q実績	2Q予想	3Q予想	4Q予想		2014年6月季報	2015年6月季報
売上	2836	649	1670		3230	13.9%	3230	3700
売上総利益		239						
販売管理費		285						
営業利益	179	-45	84		193		190	210
経常利益	175	-56	75		183		180	200
純利益	102	-35	43		106		110	120
配当	0							
DE		63.3%						
純資産	381	560			700			
総資産	841	885			1100			
ROE	26.8%				15.1%			
ROA	20.8%				16.6%			
インターネット写真サービス事業		511						
フォトラボ事業		127						
広告マーケティング事業		10						
EPS					86.39		89.65	97.80
BPS					456.40			
株式数	1227000							
株価					2000		2000	2000
PER					23.2		22.3	20.45
PBR					4.4			
公募価格	1670							
株数	100000							

本レポートについて

1. 本レポートは、株式会社日本マネジコ（以下弊社）が、投資家への情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券売買の勧誘を目的としたものではありません。有価証券その他の取引に関する最終決定は、投資者ご自身の判断と責任で行なってください。
2. 当資料に掲載されている内容の著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報につきまして、弊社の承諾を得ずに当該資料の複製、販売、表示、配布、公表、頒布または営利目的の利用を行なう権利を有しません。
3. 本レポートは、弊社が信頼に足ると判断した資料、情報に基づき記載されたものですが、その正確性、完全性、適時性などに、投資者が依拠した結果として被る可能性のある直接的、間接的、付随的もしくは特別な損害またはその他の損害について、弊社が責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本レポートに掲載された情報・見通し・意見などは、株式会社日本マネジコが信頼に足ると判断した資料、情報に基づき作成されていますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。本レポートに掲載された内容は、必ずしも適切且つ妥当なものとは限りません。投資に係る最終決定は、投資者ご自身の判断と責任で行なって下さい。また、注意事項の詳細につきましては最終ページをご参照ください。